



本物はビクともしない

永田円了

Nothing Real Is Threatened

本物を生きる人はふらつかない。何が起ころうとも揺るがない、ぶれない。何故だろう。“いのち”を生きるからである。本物とは、“いのち”に仕える人である。“いのち”を命一杯生きる人のことである。

男と女が出会い、新しい生命が生まれる確率は70兆分の1、このあり得ない確率で授けられた生命を生きるとは、その“原因”を生きることである。もしこの原因をきちんと生きないなら、それは“いのち”に対する冒涇であり、“いのち”に対して失礼なことでもある。

人生の根本的問い

私は何のために生まれてきたのか？ What were you born for?
私は何のために生きるのか？ What are you living for?
私は何のために死ぬのか？ What are you dying for?



この問いに答えることは容易なことではない。だがしかし、答えはさほど重要ではないのかもしれない。大事なことは、この問いをし続けることなのだと思う。



私はロボットだった (基督教独立学園 生徒の作文)

最近私は気がついた 私はロボットになっていた
社会の常識と、自分の理想と、人からの目をエネルギーとして動いているロボット

ロボットはすごく楽だ 本当に自分がしたいことを無視して人とつきあった
いつの間にか、人に合わせている自分しかいなくなった

心なんてなくても生きていける でも、本当に楽しいこともなくなった、世界がつまらなくなった

でも最近そうではない、と気づいた
自分の心はいつも何か感じていた
少ししゃがめば、澄んだ空気があった
そこからほんの少しだけ 自分の心がみえた



安積 力也 校長先生

校長先生を“力也さん”と呼ぶ生徒がいた。何だこれは！

一瞬ムッとする、でも後で振り返ると、自分はなんと教師根性がこびりついていたのかと反省。

自分の中の小人を知ることによって、自分の中の巨人を知る

<事例>

オバマ大統領の一般教書演説 State of the Union Address 2011/1/26

柴田トヨさん、NHK ヒューマンドキュメント「99歳の詩人 心を救う言葉」 2010/12/31

鶴見和子、NHK こころの時代「ただひたぶるに生きし君～姉・鶴見和子との日々～」

88歳で亡くなった社会学者・鶴見和子の死ぬまでの45日間の記録、妹の章子さんが語る

水澤佳寿子(48歳)、子ども三人かかえ、借金五千万円、本物はビクともしない

安積力也校長語る、NHK こころの時代「待てない時代にどう育てるか～人間教育を支えるもの～」

山形県小国町にある基督教独立学園でのエピソード

石川さゆり「天城越え」、北島三郎「風雪ながれ旅」

円了のホームページ: www.enryo.jp